

2022年 10月12日朝刊中部版

河川3カ所に監視カメラ



河川監視用カメラの画像を確認する河川課の職員＝藤枝市役所

藤枝市 氾濫の危険、即時発信

藤枝市はこのほど、市内の河川3カ所に監視用カメラを初めて設置した。大雨時の増水の様子などをリアルタイムで確認することができ、周辺住民らの避難の判断に役立ててもらう狙いがある。

市によると、これまでは19カ所に設置した水位計の数値を基に、イメージ図で増水の情報発信していた。今後、市が管理する河川を中心に監視用カメラの設置数を増やしていく方針。河川課の担当者は「実際の画像を見ることで、より緊急性が伝わりやすくなるはず。増水の様子を見に行くといった危険な行為の防止にもつながりたい」と話す。
(藤枝支局・岩下勝哉)

避難判断の一助に

設置場所は葉梨川の藤岡第6公園、法の川の新飯塚橋、黒石川の黒石橋の付近。いずれも氾濫が懸念されている地点。葉梨川は、藤岡川との合流場所近くに設置した。監視用カメラは10分間隔で静止画を撮影し、最新の画像を表示する仕組み。インターネットサイト「藤枝市水位・雨量観測システム」でいつでも確認で

記事を読んで、問いに答えましょう。

①設置された監視用カメラは何を確認するためのものですか。

((河川の)大雨時の増水の様子など)

②この監視用カメラはどんな危険性がある場所に設置されましたか。

((河川の)氾濫が懸念されている地点)

③監視用カメラを設置した目的を書きましょう。

(周辺住民らの避難の判断に役立ててもらうため。)

④設置された監視用カメラの画像を見て、あなたができるのはどんなことですか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)
実際の画像から緊急性があるかを判断して避難すべきか決める。(29字)

大雨の時、増水の様子を見に行くといった危険な行為をしない。(29字) など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／社会、総合)

年 組 名前